

WebCheck 診断レポート

会社名：株式会社アラクノイド・アーキテクト
診断サイト：www.araac.co.jp

診断日: 2026-04-01 | 対象ページ: 12ページ

CONTENTS

- 01 診断サマリー
- 02 診断対象ページ一覧
- 03 カテゴリ別スコア詳細
- 04 要対応項目サマリー
- 05 AI改善アクションプラン
- 06 セキュリティ詳細
- 07 パフォーマンス詳細
- 08 SEO詳細
- 09 AIO — AI検索最適化詳細
- 10 法的・倫理詳細
- 11 アクセシビリティ詳細
- 12 運用詳細
- 13 手動確認項目・次のステップ

01 診断サマリー

88

A

🔒 セキュリティ 81%

⚡ パフォーマンス 94%

📊 SEO 90%

🤖 AIO 86%

⚖️ 法的・倫理 94%

♿️ アクセシビリティ 92%

🔧 運用 80%

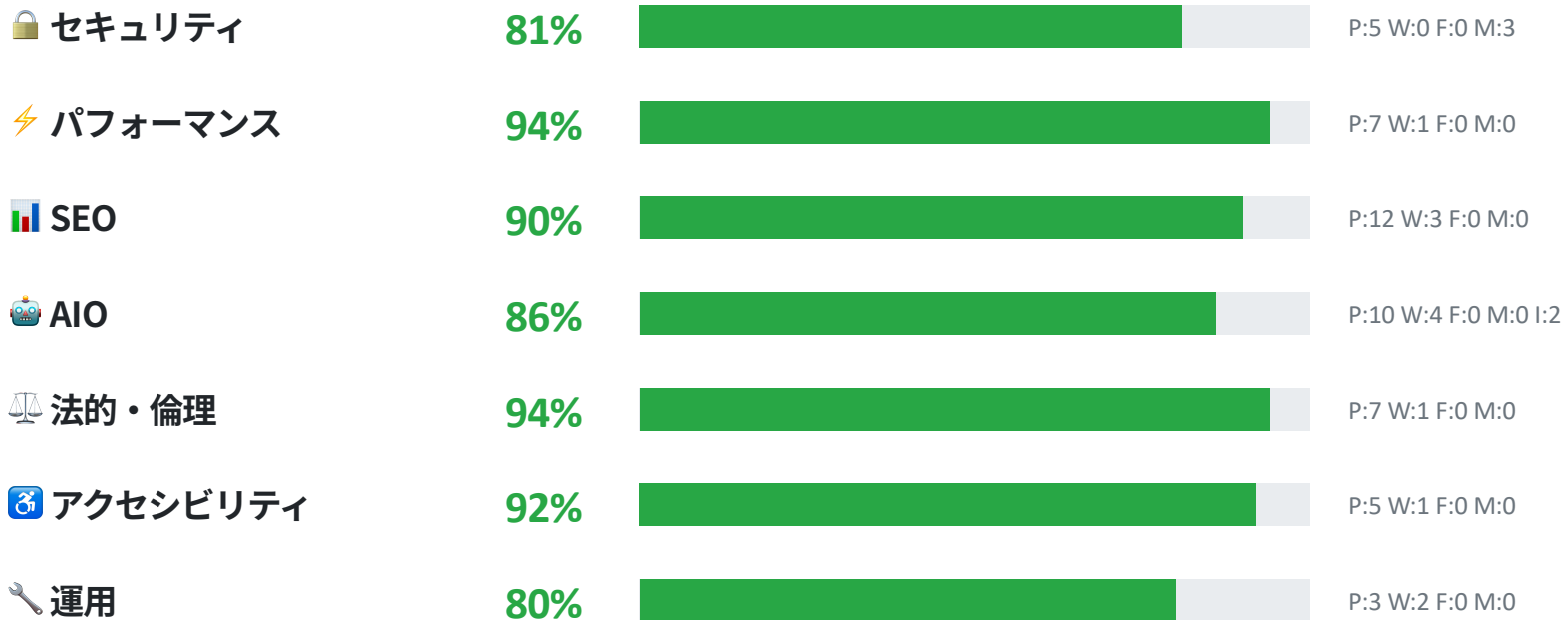


📄 主要所見: 総合88点 (A)。セキュリティ81点・SEO90点と基盤は強固。パフォーマンスの画像最適化 (P1/P2 Fail) と、AIO 86点 (ファクト密度・OGP詳細・AIリファラー計測) の改善が次の優先課題。

02 診断対象ページ一覧

#	URL	ページ名
1	https://www.araac.co.jp/	トップページ
2	https://www.araac.co.jp/services	サービス一覧
3	https://www.araac.co.jp/services/web-operations	Web運営設計支援
4	https://www.araac.co.jp/services/web-launch	Web立ち上げ・再設計
5	https://www.araac.co.jp/services/improvement	改善・グロース支援
6	https://www.araac.co.jp/services/ai	AI活用支援
7	https://www.araac.co.jp/webcheck	WebCheck
8	https://www.araac.co.jp/webcheck-ec	WebCheck for EC
9	https://www.araac.co.jp/company	会社概要
10	https://www.araac.co.jp/contact	お問い合わせ
11	https://www.araac.co.jp/privacy	プライバシーポリシー
12	https://www.araac.co.jp/terms	利用規約

03 カテゴリ別スコア詳細



04 要対応項目サマリー (Fail一覧)

ID	項目	カテゴリ	詳細
----	----	------	----

05 AI改善アクションプラン

1

OGP詳細プロパティの一括追加

難易度: 低

SEO

全12ページで og:type/og:site_name/og:locale が未設定（E13 Warn）。Next.js metadata APIで共通定義すれば一回の作業で全ページ改善。

期待効果: SNSシェア時の表示品質向上・サイトブランディング強化 | 影響ページ: 12ページ

2

AIクローラー方針の明示記述（robots.txt）

難易度: 低

AIO

L5 Warn。現状は『User-Agent: * Allow:/』のみ。GPTBot/ClaudeBot/PerplexityBot等の方針を明示することで将来のポリシー管理が容易になり、AI検索からの評価も明確化。

期待効果: AI検索エンジンへの方針明示・ポリシー管理の透明化 | 影響ページ: 1ページ

3

AI経由トラフィックの計測設定（GA4）

難易度: 中

AIO

L16 Warn。GA4は設置済みだがAIリファラー識別が未実装。計測基盤を早期に整えることで、今後のAIO施策のROI測定が可能になる。

期待効果: ChatGPT/Perplexity/Claude/Gemini経由の流入を可視化・施策効果測定の基盤 | 影響ページ: 1ページ

05 AI改善アクションプラン（続き）

4

Organization JSON-LDにsameAs追加・SNS導線整備

難易度: 低

AIO

L12 Warn / O4 Warn。Organizationスキーマに sameAs (X/LinkedIn等) が未設定。SNS公式リンクと合わせて整備するとAIのエンティティ認識が強化される。

期待効果: AI検索でのエンティティ認識強化・引用率向上・公式情報の権威性向上 | 影響ページ: 4ページ

5

ファクト密度向上（具体数値の追加）

難易度: 中

AIO

L11 Warn。本文中の数値・統計・出典が500字あたり0~1.29個と少ない。AI検索は数値ファクトを引用しやすいため、改善は引用率向上に直結。

期待効果: AI検索からの引用率向上・サービスページのコンバージョン向上 | 影響ページ: 6ページ

6

カスタム404ページ+スキップリンク

難易度: 低

運用・アクセシビリティ

O1 Warn (404が英語Next.jsデフォルト) / A5 Warn (スキップリンクなし)。両方とも `app/not-found.tsx` と `app/layout.tsx` への小さな追加で対応可能。

期待効果: 404でのブランド体験維持・キーボードユーザー対応・アクセシビリティ向上 | 影響ページ: 12ページ

06 セキュリティ (81%)

✓	S1 HTTPS化 (SSL/TLS)	全ページがHTTPS。HSTS (Strict-Transport-Security: max-age=63072000) も設定済み。
✓	S2 Content Security Policy	詳細にホワイトリスト化されたCSPヘッダが設定されている。object-src/base-uri/form-actionも制限。
✓	S3 X-Frame-Options等のヘッダ	クリックジャッキング・MIMEスニффイング対策ヘッダが揃っている。
✓	S4 CMSバージョン露出	CMS/フレームワークのバージョン情報が露出していない。
◎	S5 パスワード管理・2FA	Vercel/Next.jsのため、デプロイ管理はVercelダッシュボード経由。Vercelの2要素認証設定状況を確認推奨。
◎	S6 バックアップ運用	Gitベースのデプロイ (Vercel) であればソースは履歴管理されているはず。
◎	S7 CMS・プラグイン更新	Next.js/dependencies の定期更新運用が必要。
✓	S8 管理画面URLの隠蔽	管理画面の典型URLはすべて非公開。

07 ⚡ パフォーマンス (94%)

✓	P1 画像フォーマット最適化 (WebP/AVIF)	前回診断時の Fail から改善。写真系画像はすべて Next.js Image (`/_next/image?url=...webp`) で WebP 配信されている。残る SVG (32枚) はロゴや装飾用ベクター画像で、WebP化対象外。
✓	P2 遅延読み込み (Lazy Load)	前回診断時の Fail から改善。lazy指定率は64.7%で基準 (50%以上) をクリア。eagerな画像はLCP対象のファーストビュー要素のみで適切な使い分け。
✓	P3 CSSミニファイ	Next.js (SSR/SSG) の標準ビルドで、CSSは自動的にミニファイ・最適化されている。
✓	P4 JSミニファイ	Next.js (Turbopack) が本番JSを自動圧縮している。
✓	P5 CDN利用	Vercel Edge Network経由で全ページ配信。世界中のエッジロケーションからキャッシュ提供。
△	P6 ページサイズ	平均52KB。ほとんどのページは100KB未満だが /webcheck と /webcheck-ec が100KB前後。RSC情報の埋め込みが要因。
✓	P7 リダイレクトチェーン	リダイレクトチェーンなし。トップ/、各サービス、特定ページすべて直接200で応答。
✓	P8 レスポンスタイム (TTFB)	平均113msで基準 (≤200ms) を大きく下回る優秀な応答性。Vercel Edge Cacheが効いている (x-vercel-cache: HIT)。

08 SEO (90%)

✓	E1 titleタグの存在	全ページに適切なtitleが設定されている。
△	E2 titleの文字数	短いtitleが7ページ。/services等のサービス系・/company/contact/terms はいずれも『○○ araac』の14~18字程度で短め。webcheck-ecは『 araac araac』の重複あり。
✓	E3 meta descriptionの存在	全ページにdescriptionが設定されている。
△	E4 meta descriptionの文字数	/services/* 各ページが60~70字未満で説明不足。/termsは43字で大幅に不足。
✓	E5 H1タグ (1つだけ)	全ページが正しくH1を1つだけ持つ。
✓	E6 見出し階層の順序	見出しの階層構造が適切に保たれている。
✓	E7 画像alt属性の設定率	全画像にalt属性が設定されている。
✓	E8 canonical URLの設定	全ページに正規URLが設定されている。
✓	E9 OGP (og:title/desc/image)	OGP基本3プロパティが全ページ完備。
✓	E10 Twitter Cardタグ	X Cardが全ページ設定済み。
✓	E11 sitemap.xmlの存在	sitemap.xmlがトップに正しく配置され、主要10ページが登録されている。
✓	E12 robots.txtの存在	robots.txtが適切に配置され、sitemapも宣言されている。
△	E13 OGP詳細品質 (url/type/site_name/locale)	og:urlのみ設定で残り3プロパティが未設定。SNSシェア時のサイト識別性とローカライズ表示が弱い。
✓	E14 Twitter Card詳細 (title/desc/image)	X Card詳細プロパティが全ページ完備。
✓	E15 内部リンク構造	ナビ・フッター・本文を含む内部リンクが各ページで十分に配置されている。

09 AIO — AI検索最適化 (86%)

✓	L1 llms.txtの存在	llms.txt がルートに配置され、サービス情報・会社情報・主要リンクが整理されている。
✓	L2 構造化データ (JSON-LD) の設置	全ページがJSON-LDを実装。BreadcrumbListは全12ページに、サービスページはServiceスキーマも併用。
✓	L3 JSON-LDのタイプ	高優先度タイプ (Organization, WebSite, Service, FAQPage) が網羅的に実装されている。
✓	L4 FAQPage構造化データ	主要LP (WebCheck/WebCheck for EC) にFAQ JSON-LDが実装され、AI検索の引用候補として有利。
△	L5 AIクローラーのrobots設定 (明示記述)	ワイルドカード許可で全クローラーアクセス可能だが、AI制御ポリシーが明文化されていない。
✓	L6 AIに読まれやすい構造	見出しと本文の構造が整理されている。
✓	L7 llms.txtフォーマット品質	llms.txt が標準フォーマット (タイトル・説明・セクション・リンク) を完備。
✓	L8 AIクローラー個別アクセスマップ (14種)	Tier1の5種すべてがアクセス可能。AI検索の可視性は確保されている。
✓	L9 llms-full.txtの存在	llms-full.txt も配置済み。AI向けの完全コンテキスト提供が可能。
✓	L10 コンテンツ自己完結性	代名詞依存の低い、自己完結したコンテンツ構成。
△	L11 統計・ファクト密度	具体数値・統計の引用が少ない。AI検索は数値ファクトを引用しやすいため、ファクト密度の向上は引用率向上に直結。
△	L12 AI引用強化メタ情報	dateModifiedはあるがsameAs (SNS等の外部プロファイル) とauthor (記事執筆者) が未設定。AIのエンティティ認識が弱い。
	L13 HowToスキーマ	HowToスキーマは手順型コンテンツに適用するもの。コーポレートサイトでは必須ではない。
	L14 定義リスト・用語説明 (dl/dfn)	用語定義型コンテンツに適用する要素。サービスサイトでは必須ではない。
✓	L15 Organization/LocalBusinessスキーマ	Organizationスキーマが主要ページに配置されている。
△	L16 AI経由トラフィック計測設定	GA4は設置済みだがAIリファラー識別の専用設定 (カスタムディメンション/イベント/リファラーパターン) が未実装。AI経由流入の正確な把握ができない。






10 法的・倫理 (94%)

✓	Le1 プライバシーポリシーリンク	プライバシーポリシーへの導線が全ページから設置されている。
✓	Le2 利用規約リンク	利用規約への導線が全ページから設置されている。
△	Le3 特定商取引法表記	コーポレートサイト（非EC）のため法定義務はないが、有償サービスを案内している場合は推奨。
✓	Le4 Cookieポリシー/同意バナー	Cookie同意バナーがクライアントサイドJSで実装されている。プライバシーポリシーにもCookieの言及あり。
✓	Le5 著作権表記（©）	著作権表記が全ページに正しく設定されている。
✓	Le6 会社情報（所在地・電話）	本社所在地が公開されている。
✓	Le7 お問い合わせページ	問い合わせ導線が全ページから設置されている。
✓	Le8 免責事項の記載	免責事項が利用規約内に記載されている。

11 アクセシビリティ (92%)

- | | | |
|---|-----------------|-------------------------------------|
| ✓ | A1 lang属性の設定 | 全ページに正しい言語コードが設定されている。 |
| ✓ | A2 viewportメタタグ | 全ページがレスポンシブ対応のviewport設定を持つ。 |
| ✓ | A3 画像alt属性 (再掲) | 全画像にalt属性が設定されている。 |
| ✓ | A4 フォームのラベル | 問い合わせフォームの全要素にラベルが対応している。 |
| △ | A5 スキップリンク | キーボードユーザーが本文へすばやくジャンプできるスキップリンクがない。 |
| ✓ | A6 ARIAランドマーク | HTML5セマンティック要素によるランドマークが正しく配置されている。 |

12 運用 (80%)

- | | | |
|--|-------------------------|---|
|  | 01 カスタム404ページ | 404レスポンス自体は正常。ただし表示はNext.jsデフォルト（英語の最小ページ）で、ブランド体験が損なわれる。 |
|  | 02 Google Analytics/GTM | GA4が設置されている。 |
|  | 03 コンテンツ更新の証跡 | コンテンツ更新日が示されている。 |
|  | 04 ソーシャルリンク | SNSプロフィールへの公式リンクがない。AIのエンティティ認識（L12 sameAs）にも影響。 |
|  | 05 構造化ナビゲーション | セマンティックなナビゲーション要素が配置されている。 |

13 手動確認項目・次のステップ

◎ S5 パスワード管理・2FA

Vercel組織アカウントで2FA必須化を有効にする。

◎ S6 バックアップ運用

GitHubリポジトリのバックアップポリシー、コンテンツのDB/CMS側のバックアップ運用を文書化。

◎ S7 CMS・プラグイン更新

package.jsonの依存関係を月次で`npm audit` / `npm outdated`で点検。Renovate/Dependabotの導入推奨

次のステップ

1. 優先順位1（画像WebP化+Lazy）から順に対応 – 1~2週間で完了見込み
2. OGP詳細・AIクローラー明示は1日で対応可能、即実施を推奨
3. AIリファラー計測（GA4）は1~2週間でデータ蓄積を開始し、3ヶ月でAI流入の傾向把握
4. 改善後にWebCheck再診断を実施しスコア推移を確認

Thank you.

araac

株式会社アラクノイド・アーキテクト